

令和2年度 創立121周年黄城会総会・饅頭会の中止（案）

- 1 令和2年度黄城会総会・饅頭会を中止する。（開催期日の延長はしない）
- 2 1年後の5月3日は、令和3年度創立122周年黄城会総会・饅頭会を開催する。

◎ 常任理事会後の経過と検討した内容等

1 3月26日の常任理事会で「感染症拡大による総会・饅頭会の開催若しくは中止の検討」

- (1) 総会及び饅頭会を実施する場合
 - ① 小城高校体育館、ゆめぷらっと小城の使用は可能なのか
 - ② 小城高校の吹奏楽・合唱部及び小城太鼓の出演は可能なのか
 - ③ 極力時間を短縮するため必要最小限の内容にするのか
- (2) 総会は実施して、饅頭会を中止する場合
 - ① 小城高校の吹奏楽・合唱部の出演は可能なのか
 - ② 極力時間を短縮するため必要最小限の内容にするのか
- (3) 総会（饅頭会を含む）を中止する場合
 - ① 卒業50周年を迎える回期をどう取り扱うのか
 - ② 会員券代の取り扱い
 - ③ 新聞広告料の取り扱い
 - ④ 中止の連絡方法
 - ⑤ 総会冊子について
- (4) 実行委員会をどうするのか
- (5) イベント開催の留意事項
イベントを開催する場合は、参加者の体温測定などを記した専門家会議の見解を参考にする。換気の悪い密閉空間、近距離での会話、多くの人が密集する人混みを作らない。

2 問い合わせが続いたため、3月31日にホームページに「常任理事会の報告」を掲載 理事・監事会及び評議員会の議題について協議しました。

例年の、行事報告・決算書、行事予定案・予算書案、役員等の選任案のほか、新型コロナウイルス感染症拡大による黄城会総会の取扱いを協議して提案内容を検討しました。

このために、常任理事・幹事のほか小城高校代表幹事、総会担当実行委員会、卒業50周年の回期代表(22回坂井理事)にも参加していただきました。

- (1) 提案の内容
 - ① 式典のみにするなど、時間を60分程度に短縮して総会を開催する。
 - ② 饅頭会は中止する。
 - ③ 弁当・飲み物は配付して、持ち帰ってもらう。
 - ④ 小城高校の吹奏楽・合唱部の演奏は取りやめる。
 - ⑤ 新聞広告に、縮小して開催することを案内する。
 - ⑥ 参加に当たっての留意事項（マスク着用・消毒の徹底）を新聞広告に掲載する。
 - ⑦ 会場設営について、間隔を広げる、換気を十分にするなど工夫する。
- (2) 開催する理由
 - ① 総会の開催に係る諸業務の全てが実行委員に委任されている。
 - ② 準備してきた実行委員会が一番残念。また、続けてきた総会を中断できない。
 - ③ 会員券代・新聞広告代を返金すれば会計が破綻する。
 - ④ 本日判断するのは時期早々の意見もありました。

※ 3月28日に卒業50周年該当の坂井理事から、総会前日の記念同窓会(93人参加予定)を中止したと報告がありました。

※ 今後の状況次第では、総会を中止することもあると留意してもらう必要があります。

3 4月4日に実行委員会と「総会・饅頭会の中止(案)及び中止」について協議

- (1) 令和2年度創立121周年黄城会総会・饅頭会の中止(案)
 - ① 令和2年度黄城会総会・饅頭会を中止する。(開催期日の延長はしない)
 - ② 1年後の5月3日は、令和3年度創立122周年黄城会総会・饅頭会を開催する。
- (2) 中止に伴い計画を取りやめ、変更する内容
 - ① 総会開催の協賛広告(新聞)を総会中止の広告に変更する。
 - ② 総会冊子、参加者名簿及び封筒の印刷並びに弁当・飲み物の発注をキャンセルする。
- (3) 中止の連絡方法
 - ① 会員券購入者へハガキ連絡。(購入者全員)
 - ② 招待者の出席予定者へハガキ連絡。
 - ③ 報道機関で広報を図る。(新聞・テレビ・ラジオ) ※ 実行委員会に依頼
 - ④ 各支部、小城高校への連絡。
 - ⑤ 開催中止を知らずに来場した会員へは、会場周辺に実行委員を配置して中止を知らせる。(当日券での参加者、招待者)
- (4) 会員券購入者への対応の内容
 - ① ハガキでの連絡の際、会員券代は実行委員会へ寄付をお願いする。
 - ② 総会冊子類、弁当・飲み物類その他のキャンセル料並びに実行委員会が既に消費した経費(支部総会派遣費、会員券・パンフレット印刷、会議費用等)及び今後の活動資金(支部総会派遣費、会議費用等)を支出額として決算書を作成し、会員券購入者名簿とともに黄城会会報に同封して寄付のお礼をする。
 - ③ 返金の申し出があれば、返金に応じる。
- (5) 新聞広告協賛企業等への対応の内容
 - ① 広告協賛者に対し、総会中止の報告及び中止でも広告を掲載することで広告料は返金せず、実行委員会への寄付をお願いする。
 - ② 返金の申し出があれば、返金に応じる。
- (6) 総会冊子に掲載している「7の期会」会員の寄稿の取扱い
翌年の総会冊子に掲載はできないので、内容にもよるが黄城会会報に掲載することの了解を得て掲載する。(複数年かかることもある)
- (7) 実行委員会の取扱い
 - ① 47回期にもう1年頑張ってもらうのは無理である。
 - ② 47回期から48回期に引き継ぐにしても、饅頭会は担当したが総会の実際の経験がないので、十分な引き継ぎができない危惧がある。
 - ③ 46回期の各部長の協力が得られれば引き継ぎは可能であろうが未定である。

◎ 令和3年度創立122周年黄城会総会・饅頭会開催への検討事項

実行委員会(高校48回)の活動は、例年6月の引継会後に始めることになるが、ウイルス感染の収束が見通せない状況では実行委員会活動を始められない。また、この状況が続く中で、各支部総会が開催されるかどうか分からない。もし、収束しない状況で開催されたとしても、各支部総会に出席するのは不可能である。